

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	名桜鑑賞誘客事業	会計	一般会計	事業No.	477	施策順No.	11-050
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-4-13-4		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	16	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	観光客及び市内名桜						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		ライトアップする名桜数	16	16	16	16	17	
	意図	ライトアップによる誘客と一本桜をガイド付で巡るという、新しい形の桜観光を旅行者に提供する。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	夜桜による観光客数	34000	36000	35000	33600	35000	36000	A
	LEDライト導入数			16		41	60	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	名桜の発掘や保護活動、また情報発信に努めてきた結果、市内の一本桜を観光商品化することができた。リピーターも数多く訪れていただき、飯田市の春の観光誘客事業として定着することができた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>当市の特色は、江戸彼岸や枝垂桜の古木・巨木が市内に多く点在することである。これらの一本桜の素晴らしさをガイドと共に楽しむ桜守の旅は南信州観光公社により観光客や旅行会社から高い評価を得てきた。本事業においては年々高まる当市の名桜資源をライトアップすることにより、夜間の桜鑑賞ツアーの造成と宿泊客数の増加を狙いながら、観光消費の拡大と名桜地域としてのステータスの獲得を行う。全国桜シンポジウムをきっかけとして始まった名桜の発掘を続けるとともに、新たな事業者育成で誘客の裾野を広げ、地域全体の力で全国に情報発信を行う。 平成21年度より、環境に配慮しLEDライトを利用したライトアップの実験的導入を実施。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<p>1 名桜ライトアップ工事 2 LEDライト導入数及び導入か所 3 桜観光対応する交通誘導・警備</p>	<p>1 ライトアップか所 2 LEDライト全導入数 (1)22年度導入数 (2)導入か所 3 誘導・警備か所</p>	<p>1 16か所 2 41台 (1)25台 (2)5か所 3 2か所</p>
23年度実施計画	<p>1 名桜ライトアップ工事 2 LEDライト導入数及び導入か所 3 桜観光対応する交通誘導・警備</p>	<p>1 ライトアップか所 2 LEDライト全導入数 (1)23年度導入数 (2)導入か所 3 誘導・警備か所</p>	<p>1 17か所 2 61台 (1)20台 (2)6か所 3 3か所</p>

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	1,300	1,290	1,300	
		計 (A)	1,300	1,290	1,300	
		正規職員所要時間				
		臨時職員等所要時間				
		人件費計 (B)		0		
		トータルコスト A+B		1,290		

4 事業に対する市民や議会の意見

<p>旅館・ホテル、立ち寄り施設等、観光事業者の期待も大きい。中心市街地の飲食店関係者の期待も大きい。</p>

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円)
				経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	・平成21年度より地元企業が開発したLEDライトの導入を進めてきた。平成22年度は1年目の反省をもとにさらに改良が加えられた桜バージョンのLEDライトが開発された。わずかではあるが、LEDライトを導入することにより地元事業者の出荷額に貢献できた。 ・夜桜ライトアップを実施することで宿泊客の獲得など、観光消費の拡大に努めた。		
	後期に向けた課題	・LEDライトは電力効率を高め環境にやさしいという利点はあるが、照射距離に課題があるためその点の開発が望まれる。 ・現在5か所で行っているLEDライトアップを順次広めていく。 ・さらに宿泊客を獲得するための広報宣伝活動が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・飯田観光協会の企画による「いいだ桜めぐり」、南信州観光公社の企画による「夜桜バスツアー」などの旅行商品を毎年、旅行商品商談会や観光誘客宣伝キャラバン等で広くPRしてきた。ライトアップにLEDライトを導入したことで、地元企業のPRにつながった。		
	後期に向けた課題	・さらに桜観光における観光客を増やすための効果的な広報宣伝活動が課題である。 ・LEDライトを導入するための予算の確保が必要である。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	・平成21年度よりLEDライトを導入し電力効率をアップさせてきた。		
	後期に向けた課題	・現在5か所で行っているLEDライトアップを順次広めていく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	・名桜のブランド力を高めるためのライトアップと情報発信を行政が担うことで効果的な広報宣伝活動ができた。		
	後期に向けた課題	・桜観光で外貨を稼ぐための仕組みづくりが課題である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行 政はどのような働きかけを しましたか、又は、配慮して きましたか	4年間の振り返り	①地域の桜保存団体(愛護会)や桜守によって、桜保存のための主体的な管理が行われてきた。また、南信州観光公社による桜守の育成と名桜ツアーの造成が行われてきた。地元企業によるLEDライトが開発された。 ②名桜のブランド力を高めるための情報発信に努めてきた。		
	後期に向けた課題	①南信州観光公社や旅行業関係者による魅力あるツアー企画の造成。地元企業によるLEDライトの更なる改良。 ②名桜のブランド力を高めるための更なる情報発信。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・桜観光を飯田市の春の観光誘客事業として情報発信に力を入れてきたことで一本桜を観光商品化することができた。 ・平成16年度にスタートした桜ライトアップも定着し、そのことで地元企業によるLEDライトの開発も行われた。		
	後期に向けた課題	・さらに観光客を増やすために、桜観光にプラスアルファした魅力あるツアー企画の造成が必要である。特に宿泊客の獲得が課題である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------